

第4回での意見のまとめ

検討に関する項目と論点

【1. 適切な栄養摂取による健康の保持増進】

- ・ 学校給食が適切な栄養摂取の役割を果たすにはどのような取組が必要か。

【2. 学校給食を活用した小学校から中学校まで切れ目のない食育】

- ・ 小学校から中学校まで切れ目のない食育を行うにはどのような取組が必要か。
- ・ 食べる意欲・食べる楽しみを根付かせ、食文化等への理解を深めていくにはどのような取組が必要か。
- ・ 生涯を通じた心身の健康を支える食育を行うにはどうすればよいか。

【3. 地産地消を含む魅力ある給食提供】

- ・ 魅力ある給食とはどのようなものか。
- ・ 本市の魅力をいかした給食を子ども達に届けるにはどうすればよいか。

○ 「適切な栄養摂取」「切れ目のない食育」「地産地消を含む魅力ある学校給食の提供」を行うには、どのような学校給食がよいか。

第4回での意見まとめ～学校給食を活用した小学校から中学校まで切れ目のない食育～

【給食提供方式】

- 食育を効果的に行うために全員が同じ献立を食べることが重要。
特に食缶方式が以下の点から望ましい。
 - ・ 配膳や量の調整を通して、考える力や生きていく力を養う
 - ・ 分担を話し合うなど、協同の経験や子ども同士の学びの場となる
 - ・ 残食量の少なさ
 - ・ 新潟市の特産である米飯のおいしさ

【給食の運用】

- 給食時間を少しでも長くすることで、食育の充実や食事を楽しむことにつながるため、根拠を持って学校に働きかけていくべき
- 教員が給食や食育の重要性を理解して適切な指導を行えるよう、給食指導や食育に関する教員向けの研修等を実施すべき
- 児童・生徒自らが献立・給食写真を学校のホームページやSNS等で発信しているなど、児童・生徒を主体にした食育が重要

【食育等】

- 小中の連携のため、小中合同の食育フォーラムや学校間の情報交換の場を定期的に設けるべき
- 栄養教諭だけでなく様々な教科の中で食育を取り入れていくべき
- 保護者への食育がベースの取組として必要。視覚的に確認できるものがあれば、保護者の協力も得やすいのではないが。

第4回での意見まとめ～地産地消を含む魅力ある給食提供～

【魅力ある給食】

- 魅力ある給食のあり方として、以下の点があげられる
 - ・ 全員で同じものを食べる
 - ・ 皆で配膳するという共同作業や会話を通して食事の楽しさを体験
 - ・ 子どもも自身が生産から調理の過程、歴史や地理も含めた給食のストーリーを学び、その給食と一緒に食べ、体験を共有すること
 - ・ 適温での提供も含めた味のおいしさ
 - ・ 旬の食材の使用

【地産地消】

- 地産地消を進める上で、以下の取組が重要となる
 - ・ 生産者と学校のギャップを埋めるために、双方のコミュニケーションや中間業者等による仲介
 - ・ スクールメリットを生かした取引
 - ・ 地域ブランドの食材を使った献立
 - ・ 収穫体験を始め、献立作成から調理して食べる一連の流れを体験

検討に関する項目と論点

【1. 適切な栄養摂取による健康の保持増進】

- ・ 学校給食が適切な栄養摂取の役割を果たすにはどのような取組が必要か。

【2. 学校給食を活用した小学校から中学校まで切れ目のない食育】

- ・ 小学校から中学校まで切れ目のない食育を行うにはどのような取組が必要か。
- ・ 食べる意欲・食べる楽しみを根付かせ、食文化等への理解を深めていくにはどのような取組が必要か。
- ・ 生涯を通じた心身の健康を支える食育を行うにはどうすればよいか。

【3. 地産地消を含む魅力ある給食提供】

- ・ 魅力ある給食とはどのようなものか。
- ・ 本市の魅力をいかした給食を子ども達に届けるにはどうすればよいか。

○ 「適切な栄養摂取」「切れ目のない食育」「地産地消を含む魅力ある学校給食の提供」を行うには、どのような学校給食がよいか。